

4 その他

(1) 2学期終業式の給食提供について（2025年3月25日開催の運営委員会で承認済）

事業主体：教育委員会 教育課 ～給食を提供できる機会を増やす～

テーマ：「2学期最後の日、全員で給食を食べよう」

実施時期：2025年12月23日(火) 2学期終業式

献立：テーマに則り、極力、アレルギー食材を含まない献立を検討中。

具体的な取組：①テーマを指導主事が、直接、児童会・生徒会に伝え、各校で児童生徒が自主的な活動に取り組む。(1学期中に訪問)



②地域の教育力を育てる一環とする。

(地域の方に、給食の見守りを依頼予定)

③働き方改革として、教員はノータッチとする。学校は当日までに児童生徒が自分たちで準備・片付けができる力を育てておく。ただし、アレルギー対応や小学校低学年、特別支援学級等は必要に応じてボランティアが支援する体制を整える。

その他：事業実施後は、児童生徒・保護者等にアンケートを実施し、次年度以降の事業の参考とする。

(2) 学校給食配送車にFC（水素燃料電池）トラックを導入することについて

東浦町が目指す環境の将来像である「未来への責任 環境を大切にするまち ひがしうら」の基本目標のひとつである「エネルギーを節約し、地球温暖化防止に貢献するまちづくり」として、脱酸素社会の実現に向け、次世代自動車の普及促進の役割を担うため、今年度6年間のリース契約にて、FCトラックを1台導入する。

導入したFCトラックは、給食を運ぶだけでなく、児童生徒の環境教育に使用する他、災害時の電源供給が可能になる。



<福岡市提供>

(3) 飲用牛乳の代替食（調整豆乳）の提供について

2024年9月（2学期）より、学校給食において食物アレルギー等により牛乳を飲むことができない児童生徒に対して、代替食として調整豆乳を提供している。

豆乳提供数	小学校	中学校	合計
2024. 9月～	2人	1人	3人
2025. 1月～	4人	2人	6人
2025. 4月～	5人	1人	6人

飲用牛乳の代替食提供



豆乳

(4) 東浦町食物アレルギー対応委員会について

2024 年度に、学校生活や学校給食の現場における事故防止の取組を促進することを目的として、「東浦町食物アレルギー対応委員会」を立ち上げた。

(会議：年 2 回、東浦町審議会等の会議の公開に関する要綱第2条第2号に該当するため非公開)

【2024 年度】

- ・食物アレルギー対応の基本方針を決定
- ・対応マニュアル(手引き)を作成

東浦町食物アレルギー対応マニュアル



【2025 年度～】

- ・ヒヤリハット事例の共有
- ・食物アレルギーに関する様式の統一化
- ・エピペンの使用方法など、食物アレルギーに関する研修の実施
- ・必要に応じてマニュアルの見直し

(5) 毎月 11 日のリボーンの日について

「東浦町骨折予防プロジェクト(令和2年度から実施)」に基づき、給食では、毎月 11 日は“ひがしうらリボーンの日”として、「おから」を使った献立の提供をしている。

2022 年度 3回プレ提供

2023 年度 8回提供

2024 年度 8回提供

2025 年度 7回提供(予定)

【今年度提供予定の献立】

- ・卵の花サラダ
- ・おから入り卵焼き
- ・卵の花呉汁
- ・卵の花炒り煮
- ・卵の花チキンナゲット
- ・おからのドライカレー 等



(6) 広報ひがしうら令和6年 12 月号について

「給食」をテーマにした特集が、全国広報コンクールにて総務大臣賞を受賞した。

特集「おしえて！給食の舞台裏 まだ知らない給食のセカイ！」

広報ひがしうら ◆ 令和6年12月号

